

# みんなでつくろう大船渡 市民活動の輪

—第83回—



## @かたつむり

### ■活動のあゆみ

活動の発端は2001年、市内の養護学校や療育教室などに通う子ども達の保護者が集まり、育児の情報交換や子どもの居場所づくりを行ったことが始まりです。

その後、福祉作業所の設立を目指して活動を進め、2013年に赤崎町に作業所を設立し、法人格も取得しました。また、2017年には猪川町へ新施設を構え、新たな就労にも取り組めるようになりました。

利用者は現在40人で、農業や資源回収、気仙地域の産物を活かした6次商品の企画・製造・販売、休閑地の草刈り、地元企業での施設就労を受託するなどの活動を行っています。

### ■活動内容

就労支援・訓練の施設であることから、「働くとは」など、地域社会の一員として暮らすための「自立」を意識した活動を心掛けながら支援を行っています。

赤崎町でハウス生産する「赤崎元服とまと」とさんまを組み合わせた「トマさんソース」や、「どんこ揚げ蒲鉾」、「たかたのゆめ煎餅」、防災備蓄食である「逃げた先にある安心」もしもの備え」など、気仙地域の特産品を使った商品づくりと販売を行っています。

### ■活動方針

「居場所のない人をつくらない」という理念を忘れず、利用者一人一人の達成感や喜び・楽しみを増やし、伸ばす活動を行っています。

また最近では、福祉活動に

市は、ともに協働するまちづくりを目指しています。このコーナーでは、大船渡市市民活動支援センター協力のもと、市内の市民活動団体やイベント情報などを紹介します。

第83回は、@かたつむりの紹介です。



トマさんソースづくり

加え、SDGs(※)を意識した官民連携、農福連携(※)も進めています。

かたつむりは、障がいのある人たちが、その能力を十分に発揮できるよう創意工夫しながら、地域の活性化に寄与し、誰もが住み良い街づくりの一助になりたいと考えています。

▽問い合わせ先①@cataつむり 代表 大西智史

(☎)262134

※【SDGs】…持続可能な開発目標

※【農福連携】…障がいのある人が、農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組み

## 市民活動インフォメーション

### コロナ禍に合わせた 団体活動を考えよう

#### みんなで一緒に学ぼう会～その80～

- ▷日時 = 3月23日(火)午後1時30分～3時30分
- ▷講師 = 木下雄太さん(大船渡市市民活動支援センター センター長)
- ▷内容
  - ・コロナ禍に対応した活動事例
  - ・活動事例を自分たちの団体でどう活かすことが出来るかをディスカッション
- ▷申込締切日 = 3月22日(月)
  - ※申し込みフォームへの記入が必要です。申し込みの際に、URLを送付します。

- ▷以下のような団体におすすめ
  - ・コロナ禍で活動が思うようにできていない
  - ・企画していた集まりの延期・中止が続いている。柔軟に対応できる方法を学びたい
  - ・他の団体と交流を深めたい
  - ・コロナ禍に対応し、活動している事例を学びたい
  - ・Zoomの活用を考えている
- ▷その他 = Zoomでのオンライン開催です。
- ▷申し込み・問い合わせ先  
大船渡市市民活動支援センター(☎④5702)

■大船渡市市民活動支援センター ※フェイスブック、ブログ、ツイッターを随時更新中

▷所在地 = 大船渡市字野々田10-3(キャッセン・モール&パティオB棟5220) ▷☎④5702 ▷時間 = 午前10時～午後6時【月～金曜日(祝日を除く)】 ▷ホームページ = <http://ofunatocity.com/> ▷Eメール = [shimin@ofunatocity.jp](mailto:shimin@ofunatocity.jp)